

隙間の時間を利用してタイピング力UP

■ 校種・学年 : 小学校3 学年以上

■ 活用の概要 :

毎日帰りの会で5分間タイピング練習を行っている。最初は視写（練習用タイピングソフトを使用）をしていたが、1カ月ほどで基礎技能が身に付いたので、最近は自分で考えたことを入力するようにしている。思ったことや考えたことを自由に打てるようになることが、児童生徒の自信につながっている。

内容は授業の振り返りや日記、好きなテーマで実施する。

■ 準備するもの

- ・ 文書作成ソフト（OS標準）
- ・ アンケート機能 + 表計算ソフト（OS標準）

文書作成ソフトで
タイピング練習

アンケート
機能で提出

表計算ソフトで
瞬時にグラフ化

スキルアップで
意欲向上



5分間で自分が入力できた文字数をカウントして、表計算ソフトに入力。表計算ソフトに数値を入力するとグラフが作成され、共有できるようになっているため、入力文字数の推移を可視化できる。

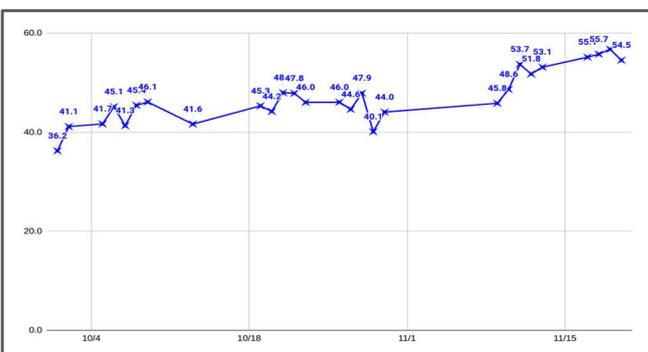
文章作成ソフトを使用。毎日続けることで、考えながらタイピングする力が徐々についてくる。毎日の自分の「振り返り」が蓄積されていくので、文字数の増減だけではなく、自分の文章作成力の変容についても振り返ることができる。

9月8日

今日は国語の授業で、たくさんの方が参観に来ました。やまなしの授業では、「五月」と「十二月」のそれぞれにタイトルをつけるときに、ぼくは「クラムボン」とつけたけど、Aくんの考えを聞いて「暗い」と付け替えました。自分だけではわからなかったことも友達の見聞を聞いて意見を深めることができよかったです。

11月20日（金）

昨日は、園工がありました。園工では、読書感想文を書きました。「やまなし」が題名になっていて、私は誰か（出演）やまなしのことをカワセミだと勘違いしているところを描いています。難しいところは、背景です。光が当たるように、底は薄く表現をしました。また、地面を今、灰色にするかを悩んでいます。先生、できれば教えて下さい。また、蟹も難しいです。蟹は、赤色なので、真っ赤にしようとするので、なるべく薄く書かないといけません。そして、今日は卓球が会えます。卓球では、サーブやレシーブなどの基本練習の他、つつきやドライブなどの技を教えてください。場所は 体育館です。（の近く）難しいところはありますが、そういうところで友達と協力しながらやると、絆や笑顔が深まると思います。また、昨日はプログラミングをやりました。プログラミングとは、未来を作る感じで全て動いていゑます。（スイッチや電気など。）ですが、体験をするサイトがあったので、今回はそれをやりました。4まで行きましたが、5はもう難しく、残念でした。また、明日は、習字があります。習字では、一ヶ月に書く字が違います。なので、正直、難しいです。そして、今回は「希望の朝：」



■アドバイザーからのコメント

朝の会や帰りの会、その他の隙間の時間を利用して、ICTの操作スキルを育成する実践です。まとまった時間をとることができない場合や、教育課程にうまく位置付けることが難しい場合に有効な取組です。

また、毎日取り組むことで文字入力のスキルは確実に向上し、その結果、授業での活用が進んでいきます。